

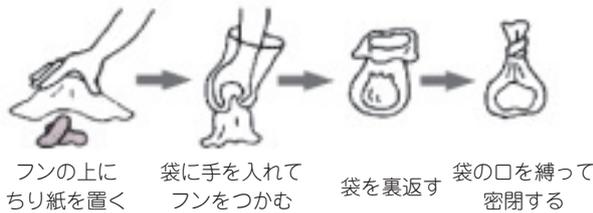


## 犬の散歩はマナーを守りましょう！

### ●犬のフンは持ち帰りましょう。●●●

飼い犬が散歩中にしたフンを放置するのはマナー違反です！公園や道路などに犬のフンが落ちているのは、気持ちのよいものではありません。また、悪臭の原因にもなります。飼い主が責任を持って、飼い犬のフンを持ち帰りましょう。

### ビニール袋による簡単なフンの始末



### ●他人の家の塀や門で、犬にオシッコをさせないようにしましょう。●●●

フンと同様に、犬のオシッコによるにおいや汚れも気持ちのよいものではありません。他人の家の玄関先や壁で犬にオシッコをさせないように気を付けて散歩しましょう。

また、水を入れたペットボトルなどを持参して、犬がオシッコをしたら流すようにしましょう。



### もし、飼い犬が迷子になったら…

市役所環境課または各総合支所市民福祉課及び茨城県動物指導センターへ連絡してください。あなたの犬が保護されているかもしれません。

### 問い合わせ

環境課環境推進グループ ☎52-1111 (内線123)

各総合支所市民福祉課市民グループ (代表)

山方 ☎57-2121 美和 ☎58-2111

緒川 ☎56-2111 御前山 ☎55-2111

茨城県動物指導センター ☎0296-72-1200

## 健康 通信

常陸大宮済生会病院  
整形外科部長  
石川 有之先生



## 神経痛と関節痛について

神経痛とは、特定の神経領域に症状がみられる場合のことで、痛む部位が1つの神経によって支配されている領域に認められます。症状は疼痛ですが、その他にしびれや神経が支配している筋肉の萎縮を認める場合もあります。神経痛には、原因が不明の「突発性神経痛」と、炎症・腫瘍・外傷などにより発症する「症候性神経痛」があります。種類としては、後頭神経痛・肋間神経痛・三叉神経痛・坐骨神経痛・大腿神経痛・帯状疱疹後神経痛(表1参考)などがあり、診断するためにCTやMRI検査を必要とすることがあります。治療には、まず薬物療法を行います。効果がなければ神経ブロック・外科治療を行います。

(表1)

後頭神経痛	片側の後頭部、頭頂部、側頭部にかけての痛み
肋間神経痛	脊椎(背骨)から片側の1本の肋骨に沿って起こる痛み
三叉神経痛	顔面の片側が激しく痛む神経痛
坐骨神経痛	片側の臀部、大腿(太もも)の後面、ふくらはぎ、かかとやくるぶしまでの痛み
大腿神経痛	大腿(太もも)の前面の痛み
帯状疱疹後神経痛	帯状疱疹が治癒した後に残る痛み

関節痛とは、体を動かすために必要な関節に起こる痛みです。関節自体に運動時痛・安静時痛・圧痛・寒冷痛を認めます。関節痛の原因として、軟骨のすり減り・老化・肥満・過度の運動・運動不足・感染・免疫異常などが考えられます。関節痛には、炎症によるもの(感染・関節リウマチ・痛風・偽痛風・膠原病など)、非炎症によるもの(変形性関節症・外傷など)があります。関節痛を引き起こす疾患は多数考えられることから、確定診断をするために、関節痛以外の症状の有無やX線検査・MRI検査・血液検査などが必要になります。